

分析美学の諸問題 確認問題集

第1章 美学(芸術学)の目的

■真なる前提に正しい推論を適用して誤った結論が導かれた場合、「パラドクス」が発生していると言えるが、そのときの解決の方針を3種類挙げよ。

■複数の芸術作品を比較する場合、理論的芸術学の立場からすると、影響関係のあるものどうしと影響関係のないものどうし、いずれの比較の方が研究方法として有効か。

■「メタ批評はわびしい」という見方について、メタ批評を擁護する方向で論ぜよ。

■「あなたは美学を学ぶ」から「あなたは美学を学ぶべきである」を導き出す論証とは、どのようなものか。「である」から「べし」は導き出せるのか。

分析美学の諸問題 確認問題集

第2章 芸術の定義

- 分析美学における芸術の主な定義を3つ挙げ、それぞれの定義の長所と短所を述べよ。
- アーサー・ダントーの制度主義と、ジョージ・ディッキーの制度主義の違いを述べよ。
- 芸術研究における文化的アプローチと進化的アプローチとでは、芸術観の根本的違いがある。どういう点だろうか。
- 「芸術は定義できない」とする考えの根拠を、できる限り多く挙げよ。

分析美学の諸問題 確認問題集

第3章 作品と解釈

■一つのテキストに複数の作品が対応するような具体例を挙げよ。

■芸術作品の外在性質にはどのようなものがあるか。解釈にとって重要な外在性質と、重要でない(無視すべき)外在性質を分類せよ。

■解釈についての相対主義を、普遍主義へと読み替える方法はどのようなものか。解釈を「関数」と捉える仕方で述べよ。

■絵画と音楽は、それぞれ単数芸術、複数芸術という別種の存在論的身分を持つとされる。ネルソン・グッドマンに代表されるこの見方を批判せよ。

分析美学の諸問題 確認問題集

第4章 美の定義

- メタ倫理学の諸学説のさまざまな分け方(二項対立)のうち、美学に移植したとき最も有益だと思われる分け方はどれか。全く使えないと思われる分け方はどれか。
- 美的判断は、倫理的判断に比べ、客観性と実践性のそれぞれにおいてどのような違いを示すだろうか。
- 美を認定するさいに、常に「未決問題」が生ずると言えるか。また、美を認識したときにはどのような動機づけが伴うだろうか。

分析美学の諸問題 確認問題集

第5章 美の論理学？

■美的判断に理由があると感じているのにその反証例に出会った場合、理由をどのように改訂するべきだろうか。あるいは、そもそも美的判断に理由は必要だろうか。

■美的人格は、倫理的人格や認識的人格に比べて統合度が低くてもうまくやっていける、あるいは統合は必要ない、ということがありうるだろうか。

■解釈の美的原理、美の推移性、2封筒問題という三者の論理的関係を述べよ。

分析美学の諸問題 確認問題集

第6章 美と意識

■世界の物理的状態が変化しない限り変化できない、という意味で「物理の上にスーパービーンする」システムの例を挙げよ。物理の上にスーパービーンしないシステムの例を挙げよ。美的価値はどちらに属するだろうか。

■外界の存在は確率的に証明できても、他人のクオリアの存在は確率的に証明できないのはなぜか。美の存在はどちらに似ているか。主観的美と客観的美に分けて論ぜよ。

■仮説検定においては、事前確率が看過されやすい(健康診断問題など)。客観的美が存在するという仮説は、その対立仮説に比べ、事前確率は高いだろうか、低いだろうか。

分析美学の諸問題 確認問題集

第7章 美的と倫理的

■芸術への美的態度は、非美的な諸態度と同列に（独立に）並ぶものなのか、それとも非美的な諸態度から構成されるまたは導出されるものなのか。

■芸術における独創性と誠実性の意義を、模倣・ドーピングなどを例に、他の分野（とくにスポーツ）と比較せよ。

■「偶然性の音楽」が、音楽における贋作の成立可能性にもたらす影響について述べよ。

分析美学の諸問題 確認問題集

第8章 対象化

■「コンセプチュアルアートは芸術でない」という議論の根拠と、それへの批判を述べよ。

■コンセプチュアルアートを「虚構の芸術」として扱う可能性について述べよ。虚構の芸術と考えられた場合、コンセプチュアルアートの「真作」を尊重する意義はどのように変化するか。

■不可識別対象の種類を列挙せよ。異なる解釈を受け入れる不可識別対象とはどのようなものか。

分析美学の諸問題 確認問題集

第9章 情報美学

■記号論や情報理論における分類のうち二つ(n 項対立と m 項対立)を選び、組み合わせて、 $n \times m$ 個の概念を命名せよ。その図式が、芸術研究にどのように使えるかを検証せよ。

■同一の形式を持ちながら、内容を異にする芸術作品のペアの例を挙げよ。

■同一の意味情報を持ちながら、美的情報を異にする芸術作品のペアの例を挙げよ。

■芸術作品の複製技術が進んで、芸術作品のデザインの側面の比重が増すにつれて、パフォーマンスが演じられる場所(主体)がどう移行するかという可能性をいくつか述べよ。

分析美学の諸問題 確認問題集

第10章 ジャンル

■ 同一の芸術作品を異なるジャンルに位置づけることによって、全く別の解釈が生み出される具体例を挙げよ。

■ 同一の芸術作品のたとえばデザインとパフォーマンスを入れ替えて理解することによって、全く新しいジャンルが生み出される可能性を論ぜよ。

■ 非芸術を芸術に、あるいは芸術を非芸術に位置づけることによって、全く別の解釈が生み出される具体例を挙げよ。

分析美学の諸問題 確認問題集

第11章 進化美学

■ アンケートによって、世界中の人々が一致して好む風景画の存在が示されたとする (cf. Komar & Melamid: The Most Wanted Paintings)。それは、美の認識が人間の遺伝的本性に基づくことを証明する役に立つだろうか。

■ 第2章で見た主要な3つの芸術の定義のうち、進化美学と相性がよいのはどれだろうか。

■ 進化的適応の産物としては決して説明できないと思われる芸術活動の具体例を挙げよ。

■ 進化心理学で言う「自然主義の誤謬」と、メタ倫理学で言う「自然主義の誤謬」の違いを述べよ。

分析美学の諸問題 確認問題集

第12章 メタ芸術

■西洋美学の外側から西洋美学の適用可能性を検証する役に立つような芸術ジャンルとして、書のほかに何が思いつかれるか。

■名目種を造形的に表現するとき、正確な伝達という点で適した記号は、アイコン、インデックス、シンボルのうちどれだろうか。

■書の出品作を選ぶときの「自制」に相当する精神的試練の例を、他の芸術ジャンルに見出せるだろうか。

■超芸術トマソンは、どういう意味で「超」なのだろうか。

分析美学の諸問題 確認問題集

第13章 虚構

■目の前の光景が虚構であることを知っている人が、虚構的対象に対して、恐怖や同情といった現実的感情を抱くことができるのはなぜか。

■プラトンの芸術観は、虚構を芸術の本質と捉えていることを示せ。他方、アリストテレスの芸術観は、何を芸術の本質と捉えているか。

■虚構的対象が現実世界に存在するか否かという理解と、虚構への感情についての理解との論理的関係を分類せよ。

分析美学の諸問題 確認問題集

第14章・第15章 観測選択効果

■あなたがこの世に生まれる事前確率がほぼゼロだったという仮説と、ほぼ1だったという仮説の各々の根拠を挙げよ。

■あなたがこの世に生まれる事前確率について、ベイズ的確率計算で仮説検定せよ。

■哲学的ゾンビ(意識なき脳)が存在する可能性と、心霊(脳なき意識)が存在する可能性との違いを、ベイズ的確率計算で示せ。

■あなたのIQが人間の平均値よりかなり高い値である理由を、観測選択効果で説明せよ。

■コンセプチュアルアートが虚構の芸術ではなく正真正銘の芸術として認められている理由を、観測選択効果で説明せよ。

■無差別テロが芸術として認められない理由を、観測選択効果で説明せよ。